

【背景・目的】

「体育・スポーツが多様であることは、それらの価値や魅力の基本的な要素になる」
（体育・スポーツに関する国際憲章第1条の5）

学校体育でバスケットボールの派生種目を実践・教育

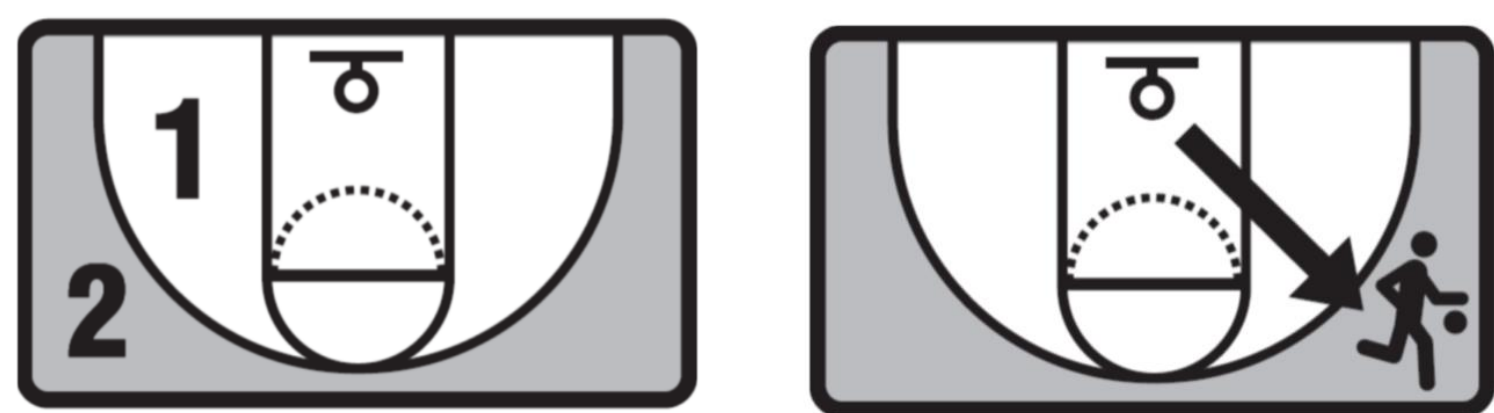
バスケットボール自体の価値や魅力↑

生涯スポーツ人口↑

一例として、2024年度に南山大学で開講された授業の実践例を紹介する。

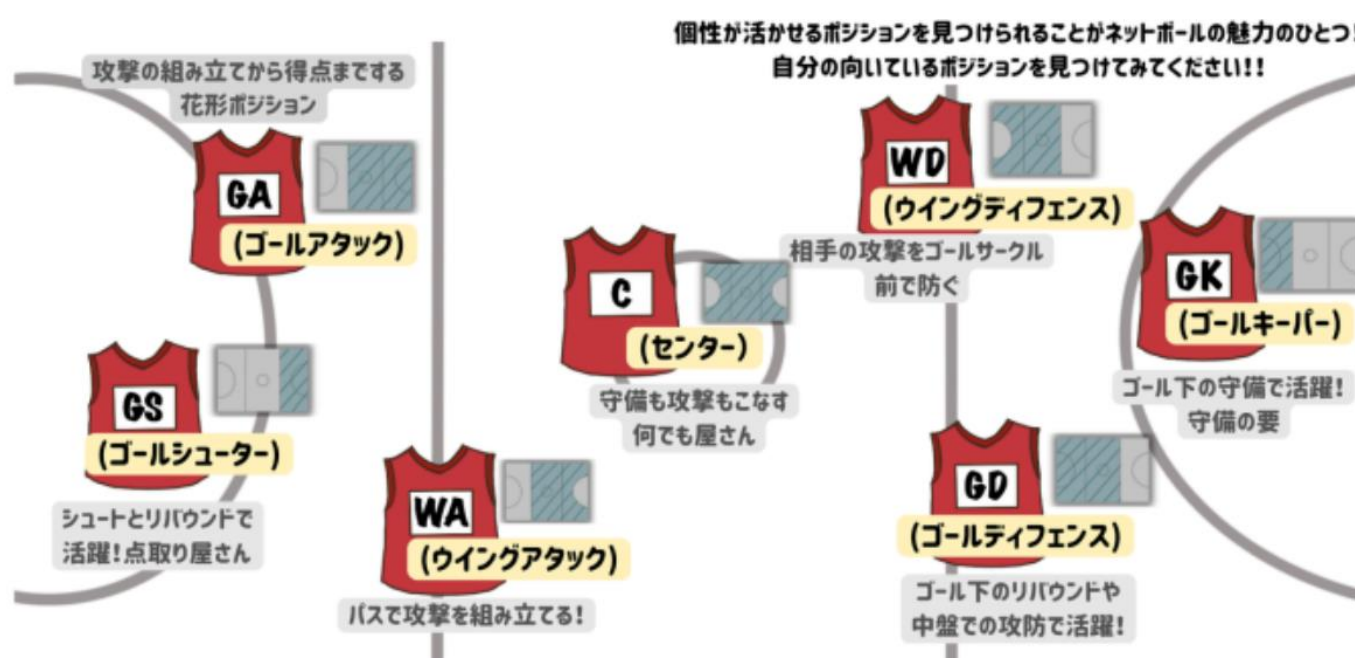
【3x3】

- ・2007年 正式種目化
- ・各チームは3人で構成
- ・ハーフコートで実施
- ・公式の試合時間は10分間（または21点先取）
- ・得点は1点、2点
- ・攻守の切り替え時、ボールをアークの外に



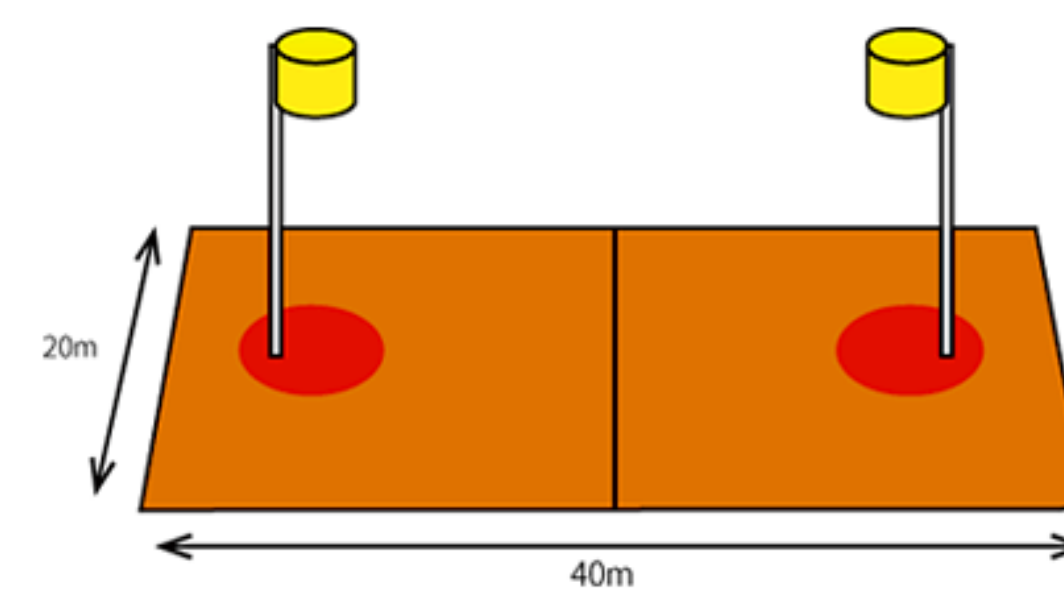
【ネットボール】

- ・1895年 イギリス発祥
- ・各チームは7人で構成
- ・自分のポジションに応じたエリアで動く
- ・ドリブルができない
- ・身体接触が禁止
- ・ボールを持っている人への接近も禁止



【コーフボール】

- ・1902年 オランダ発祥
- ・各チームは8人で構成
- ・男女混合、同性しかマークできない
- ・ドリブルができない
- ・フリーでしかショット出来ない
- ・360° どこからでも打てる



【実施内容】

「スポーツ実技（健康スポーツ）
バスケット型スポーツ」

月曜2限 木曜2限	
3x3 4回	ネットボール 7回
コーフボール 3回	

基本情報

- ・全学部対象の**選択科目**
- ・2年生以上が対象
- ・女子17名、男子9名

3x3

- ・競技動画を視聴しルール説明
- ・パスやシュートを中心としたウォーミングアップ
- ・初心者は+1点、女子は+1点
- ・ゲームの時間は前半3分、後半3分
- ・1チーム4人～、6チームを基本
- ・12秒ショットクロックは実施しない

ネットボール

- ・競技動画を視聴しルール説明
- ・パスとキャッチを中心としたウォーミングアップ
- ・ゲームの時間は前半5分、後半5分
- ・1チーム8人～、3チームを基本
- ・**ボール保持の時間制限は実施しない**

コーフボール

- ・現役プレイヤーによるルール説明
- ・基礎的なドリルによる技術・戦術練習
- ・ゲームの時間は前半3分、後半3分
- ・1チーム4人～、6チームを基本（ハーフコートゲーム）

【観察された種目特性・受講者の感想】

3x3

- ・個々の**スキル発揮**が多く見られた（観察）
- ・広いスペースが確保しづらい
都会でも親しみやすそう（感想）
- ・ゲームに**参加している感覚**を強く感じられた（感想）
- ・スペースを作る動きや**攻撃戦術**が5人制よりも理解しやすかった（感想）
- ・男女混合だったので、一層工夫を凝らす必要があった（感想）

ネットボール

- ・ルールの理解が進むにつれ、自然に**戦略的な話しあい**が生じていた（観察）
- ・バスケットボール経験者が**絶対的に有利**というわけではなかった（感想）
- ・向き不向きに合わせてポジションを選べば、初心者でも**気後れせずに楽しめる**（感想）
- ・ポジションでプレー範囲が異なるという点が、シュートが苦手な私にとって**魅力的**でした（感想）

コーフボール

- ・**ノーマーク**を作ることに対する理解が深まった（観察）
- ・ディフェンドのルールがあることで**小柄な人でも長身プレイヤーを守れた**（感想）
- ・経験の有無や体格差などを気にせず始めやすいスポーツであると感じた（感想）
- ・公式ルールで男女が**同じコートで戦える**ようになっているのが**魅力的**（感想）

【今後の展開】

- ・実施するルールの精査
- ・種目の実施順序の工夫
- ・ルールの教授法の改善
- ・適切な男女比や人数の確認
- ・運動特性の測定
- ・定量的なアンケートの実施